



▲播磨町戦没者追悼平和祈念式を挙りました

店頭は秋の味覚が並び始めました。テレビでは、世界陸上やラグビーW杯などスポーツ番組も賑やかです。いろんな楽しみがあるいい季節になりましたね。

◆11月24日まで、播磨町郷土資料館で特別展を開催しています。テーマは「播磨町の文化遺産」。これまでいろいろな場で紹介されてきた播磨町の文化財ですが、通常展示されている写真やレプリカではなく本物が見られるいい機会ということで、特別展を鑑賞しました。ジョセフ・ヒコや今里傳兵衛にゆかりのある資料、町内の各寺院、神社、地域などから提供していただいた彫刻、書跡、民俗文化財などは、年月の重みを感じる大変興味深いものばかりでした。改めて多くの方々の手によって、大切に守り継がれてきたことに感謝したいと思います。奇跡的な偶然と人々の努力で、この時代に会うことができる播磨町の文化財を是非多くの方々にご覧いただきたいと思っています。大中遺跡の秋の風景とともに、ごゆっくりお楽しみください。(考古博物館も特別展開催中です)

◆10月5日に「播磨町戦没者追悼平和祈念式」を挙りました。これまでは毎年秋に「戦没者追悼式」として行っていました。戦後74年目となり、令和という新しい時代を迎えたことから、遺族会の意向も踏まえて、子どもから高齢者まで多世代が「平和」について、ともに向き合い、考えていく場として、新たな形でスタートすることとなりました。式は遺族会を始めとして多くの方々のご列席を得て、ヴァイオリンやフルートの演奏で厳かに始まり、途中播磨西小学校合唱部が「世界で一つのハーモニー」と「ふるさと」を合唱しました。戦没者への追悼とともに、新しい時代にふさわしい「平和事業」を推進してまいりたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子

播磨町戦没者追悼平和祈念式

企画グループ ☎079(435)0356

播磨町では昭和57年4月に「核兵器廃絶のまち宣言」を掲げ、世界恒久平和を目指す取り組みとして、戦没者追悼式や中学生などを対象とした平和祈念講話会などを実施していました。この度、新しい時代を迎えたことから、戦没者の霊を慰め、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に継承することを目的に、「播磨町戦没者追悼平和祈念式」として開催することとなりました。



▲播磨町戦没者遺族会 河南博会長の式辞

播磨町戦没者遺族会、来賓をはじめ、一般参加席には子どもを含む家族の姿もあり中央公民館大ホールに用意した200席が満席になり、戦没者の御霊に黙とうをささげ、平和を祈念しました。



▲出席者による一般献花



▲播磨西小学校合唱部による平和合唱



▲会場内で平和展も同時開催しました

楽屋裏

今月の広報はりまにも、たくさんの方々のイベントの案内を掲載しています。地域の秋祭りも気になります。広報担当には、さまざまなイベントからお声がかけられますが、なかなかお伺いすることができなくて、申し訳ありません。どこかで、緑色の「広報」と書かれた腕章をつけて、カメラを持って私を見かけたら、「広報さん、撮って〜」と、アピールしてください。

近いところでは、大中遺跡まつりでお会いしましょう。(宮)

郷土資料館特別展「播磨町の文化遺産」開催中

郷土資料館 ☎079(435)5000



▲長い年月、大切に伝えられた品々。日頃、非公開になっている秘伝や古文書、町内の寺社が所有する貴重な文化遺産を特別にお借りして展示しています。年月とともに墨字が薄れていたり、石造りの地蔵などは風雨にさらされて劣化していたり、木製の装飾は搬出作業による破損の危険があるなど、展示すること自体が難しくなっています。そんな条件の中で、現物の展示にこだわった今回の特別展は、ぜひ多くの人に観覧していただきたい内容になっています。(11月24日まで開催)

今里傳兵衛の紙芝居が披露されました

県立考古博物館 ☎079(437)5589

県立考古博物館で活動しているボランティアグループひょうご考古楽倶楽部が、「新井物語 今里傳兵衛」の紙芝居を制作し、9月15日に初上演しました。紙芝居独特のわかりやすい言葉と絵と心地よいテンポで、新井開削までの難題をどうやって解決していったかが語られています。

同倶楽部では、90本を超えるレパートリーのうち24本のオリジナル作品を手掛けています。博物館の特別展にちなんだ題材で「播磨国風土記ものがたり」(英語版もあり)や「高田屋嘉兵衛」などのオリジナルの紙芝居を創作し、ロビーでの定期上演のほか、小学校やいきいきサロンなどに出向いて上演する活動も



しています。このたび上演した「今里傳兵衛」は、大中遺跡まつりの博物館エリアでも上演します。



◀播磨町にある博物館なので、播磨町の偉人の作品を作りましたと語る平郡衛さん(前列左から2人目)とひょうご考古楽倶楽部紙芝居をつくる会の皆さん

キッズ交通安全官が交通安全を呼びかけました!

危機管理グループ ☎079(435)0991



▲交通安全、お願いします。9月26日の午後5時から、JR土山駅前にて、秋の全国交通安全運動の一環として、キッズ交通安全官が、交通安全を呼びかける活動を行いました。駅を利用する人たちにポケットティッシュや反射材を配布して、交通事故の防止を呼びかけました。

●「キッズ交通安全官」「キッズ交通安全官ファミリー隊」募集中!

兵庫県では、飲酒運転による悲惨な交通事故を無くすため、家族や地域に、飲酒運転はしないでねと呼びかける「キッズ交通安全官」と、地域や職場の仲間に対して飲酒運転「三ない運動」を呼びかける「キッズ交通安全官ファミリー隊」を募集しています。

既に「キッズ交通安全官」に任命されているお子さんのご家族も、「ファミリー隊」への応募が可能です。募集期間は、令和2年3月31日までですが、それぞれ応募者が300人に達した時点で募集を終了します。

▼キッズ交通安全官に関するお問合せ

兵庫県企画県民部交通安全室 ☎078(341)7711



1歳



いわさき すず 岩崎 心音ちゃん (北本荘)

生まれてきてくれてありがとう。すずちゃん大好きだよ。(パパ・ママ・ねえねより)

※撮影時の年齢です。